

# 書字練習

年 月 日

私はその人を常に先生と呼んでいた。  
だからここでもただ先生と書くだけで  
本名は打ち明けない。これは世間を  
憚<sup>はば</sup>かる遠慮というよりも、その方が私に  
とって自然だからである。私はその人の  
記憶を呼び起すごとに、すぐ「先生」と  
いいたくなる。よそよそしい頭文字など  
はとても使う気にならない。筆を執<sup>と</sup>つて  
も心持は同じ事である。

出典…こころ 夏目漱石  
(上 先生と私より)